

「TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合」への出資について

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長 喜勢 陽一）が推進する「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点にスタートアップへ投資を行う「TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」といいます。）への投資を実施しましたので、お知らせいたします。

「TAKANAWA GATEWAY CITY」では、「100年先の心豊かな暮らしのための実験場」というコンセプトのもと、様々な社会課題に対し、「新たなビジネス・文化」「循環型社会のモデル」などの解決策を生み出し、世界中へ発信していく拠点としてのまちづくりが進められております。街のビジネス創造の核となる施設「TAKANAWA GATEWAY Link scholars' Hub（略称LiSH^(注)）」は、国内外のスタートアップと、研究機関や事業会社などの多様で先端的な知を掛け合わせることで新たなビジネス・文化を生み出し、社会実装へ向けてサポートする施設です。

本ファンドは、当行も参画する「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくりパートナーとともにスタートアップへ出資することで、各パートナーとスタートアップとの共創を生み出し、街を実証フィールドとして活用しながら、スタートアップをファイナンス面からも効果的に支援していくことを目的に設立されています。

当行は、本ファンドへの出資を通じて、「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点にスタートアップと連携を深めるとともに、秋田県内の地域資源を活用した事業共創により、地域課題解決と新たな価値創造を目指してまいります。

（注）ビジネス創造施設「LiSH」について

「LiSH」は、ディープテック分野（社会様式を根本から変革する可能性を秘めた先進的・革新的な技術分野）などのスタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃えた、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。世界中の社会課題に対して、多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤（都市OS）による分析などにより、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。

記

1 本ファンドの概要

名称	TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合
設立日	2024年12月1日
募集総額	最大約100億円を想定
運営会社 (無限責任組合員)	グローバル・ブレイン株式会社
投資対象	国内外の環境、モビリティ（ロボット）、ヘルスケアの各領域を中心としたスタートアップ（主にアーリーからミドルステージの企業）

2 運営会社の概要

名称	グローバル・ブレイン株式会社
本店所在地	東京都渋谷区
設立	1998年1月
代表取締役社長	百合本 安彦
事業内容	ベンチャーキャピタル事業

(以上)

 秋田銀行

地域とともに歩み、
地域の発展とともに
栄える